

主に「健康な心と体」が育った実践

活動名 どちらがたくさん入ったかな -玉入れ遊び- (10月)

保育者の願い (ねらい)

- 玉入れ遊びをする中で、投げることの楽しさや、ねらったかごに入った時の喜びを感じ、体を動かすことの楽しさや満足感を味わう。
- 玉を投げるときに、下に投げつけるのではなく遠くに投げようとする意識をもつようになる。
- 球の投げ方などを友達同士で教え合ったり、よいところを認め合ったりしようとする。

援助のポイント

- 活動中にBGMを流して場の雰囲気づくりをすると共に、子供たちに活動の始まりと終わりがわかりやすいようにする。
- 「玉を投げてみる」ことから始めて、「自分で投げる距離を決める」、「対戦形式の玉入れ遊びにする」、「『果物』玉入れにする」等、子供たちが飽きずに意欲をもって活動に取り組めるよう、少しずつ遊び方やルールを変えて遊べるようにする。
- 玉入れ遊びの中で、「どんな風に投げたの?」「どこを見て投げたの?」等と聞き、意見を伝え合うことでクラス全体の場で投げるコツを共有できるようにする。
- 活動の中で子供たちの頑張りや気付き、望ましい行動を認め、他児にも知らせていく。



環境構成の工夫

- 子供たちが安全に、十分に体を動かせるよう、広い空間をとるようにする。
- 子供たちが遠くに投げる動きを楽しめるよう、手におさまり、投げやすい玉入れの玉(紅白玉)を使う。また、子供たちが目標をもって意欲的に投げられるよう、投げ入れられる大きさのかごを準備する。
- 室内で子供たちが自分の投げる場所を視覚で確認できるよう、全員の子供の足下にマーカーを置く。
- 2チームに分かれて対戦する時には、安全に玉入れ遊びができるよう、順番を待つ子供たちはステージで見たり応援したりするようにする。



これまでの経緯

- 「中当て」(四角の中の友達を外の数名がボールを投げて当て、当てられたら交代)をする。
- 「赤白中当て」(ドッジボールのコートを赤と白に分けて、赤チームと白チームがそれぞれ色の違うチームの友達にボールを当てる)をする。
- 7月からドッジボールをする。
- 9月に運動会で玉入れをする。

当日の活動内容

- みんなでダンスをしながら準備運動をする。
- ダンスをした円の隊形の真ん中にかごを置き、運動会で使った玉を使ってかご入れ玉入れをすることを話す。どのように投げるとよいか子供たちの考えを引き出す。
- 始めは、かごまでの距離を短くして、玉が入る経験ができるようにする。保育者は子供たちの思いを聞きながら、かごまでの距離を変える。また、「みんなが決めたところから投げよう」と話して、足下のマーカーを動かして、自分に合った距離から投げられるようにする。
- 2つのチームに分かれて、やり方とルールを確認してから、対戦形式の玉入れ遊びをする。
- 玉入れ対戦の後、2つのチームそれぞれのかごに入った玉を使って、数をみんなで数え上げたり、どちらの数が多いか比べたりする。
- 保育者が作成した「果物」を取り出し、玉入れの中に加える。
『果物』が1つ入ると、玉5個分」というルールを加え、子供たちに作戦を考えるように話す。
- 勝負がついた後は、みんなの頑張りを認め、全員を励ます。
- みんなで紅白玉や「果物」の片付けをする。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の表れ

- かごに向かって紅白玉をいっぱい投げている。 (健康な心と体)
- 投げ入れる距離を自分で決めていた。 (自立心)
- 最後まで諦めずに紅白玉をかごに入れようと頑張っていた。 (自立心)
- 同じチームの友達と力を合わせて玉入れに取り組んでいた。また、違うグループの友達を応援したり、お互いの頑張りを認め合ったりした。 (道徳性・規範意識の芽生え) (協同性)
- 時間やルールが分かり、ルールを守って玉入れに取り組んだ。玉入れの勝敗に関わらず、自分の気持ちを調整し、友達と楽しく遊ぶことができていた。 (道徳性・規範意識の芽生え)
- 玉を上手に投げるコツを言葉で表現して話したり、友達に聞いた玉を投げるコツをいかしたりして玉入れ遊びに取り組んでいた。 (言葉による伝え合い)
- 入った玉の数を数え、勝敗を決めていた。 (数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)



小学校教育とのつながり

- 玉入れ遊びを通して、運動遊びの楽しさに触れ、進んで取り組むことは、体力の向上につながります。
- 玉を下に投げつけるのではなく遠くに投げようとする動きは、体育のボールゲームにつながります。玉を投げてかごに入る喜びを味わったり、チームで玉入れをして競い合ったりすることにより、楽しく「投げる」練習ができます。
- 運動遊びを通してルールを守り、みんなで楽しく遊ぼうとする経験は、道徳心や安全意識の育成につながっています。

